



「主体的・対話的で深い学び」を
実現する生活単元学習の
授業づくりガイドブック

実践モデル事例

実践事例

はじめに

実践モデル事例は、複数の児童生徒が在籍する知的障がい特別支援学級を想定し、「ガイドブック」の過程に沿ってポイントを意識し、確認しながら作成しました。児童生徒の実態から年間指導計画を作成し、一つの単元について単元及び授業計画を立て、学習評価を行いました。また、授業づくりの過程に沿って、授業者の思いや意図も合わせて掲載しました。

実践事例は、実際に「ガイドブック」に沿って行った授業実践をまとめたものです。

【概要】

○実践モデル事例1（小学校）

- ・ 2年、4年、6年各1名の3名の児童が在籍している知的障がい特別支援学級
- ・ 週4時間の生活単元学習を行う計画
- ・ 設定した単元「ゴムロケットで遊ぼう」全15時間

○実践モデル事例2（中学校）

- ・ 1年、2年、3年各1名の3名の生徒が在籍している知的障がい特別支援学級
- ・ 週2時間の生活単元学習を行う計画
- ・ 設定した単元「ボランティア大作戦②」全16時間

○実践事例（小学校）

- ・ 1年から5年までの児童が1名ずつ在籍している知的障がい特別支援学級
- ・ 週2時間の生活単元学習を行う計画
- ・ 実践した単元「「世界一おいしい森のパン屋」をつくろう」全12時間

なお、本モデル事例は、学習指導案の様式を提案するものではなく、「ガイドブック」に沿った授業づくりの考え方を提案するものです。生活単元学習の授業づくりの参考となれば、幸いです。

実践モデル事例

実践モデル事例 1 |

実践モデル事例 2 | 4

实践事例

愛媛県総合教育センター
相談支援部 特別支援教育室

〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲 650 番地

TEL (089) 963-3111 (代表)

(089) 909-7424 (特別支援教育室)

FAX (089) 963-3146

Mail tokusi@school.esnet.ed.jp

ホームページの URL

<https://center.esnet.ed.jp/>

